

令和8年度「定時総会」開催

5月26日(火)、ホテル東日本宇都宮において令和8年度定時総会が開催されました。

昨年度に引き続き、ホテル東日本宇都宮において定時総会及び懇親会を開催し、福田富一知事をはじめご来賓の方々にご祝辞をいただきました。また、表彰式につきましても、滞りなく実施することができました。これは、ひとえに皆様のご理解とご協力の賜物であり、お陰様をもちまして、無事に定時総会を終了することができました。

当日の会場には、定款に定める定足数を大きく上回る312名（委任状を含む）の会員の参加をいただくことができ、総会は無事成立いたしました。

冒頭のあいさつで谷黒会長は、全国各地での震災により「地域の守り手」としての社会的使命が重みを増す一方、中東情勢の緊迫化による資材価格の高騰など、建設業界を取り巻く環境が厳しさを増していることから、十分な公共事業費の予算確保や受注機会の拡大、大規模事業の具現化など、構造改革のさらなる推進に向け、国や県等に対し要望活動を展開していく。また、人材確保・育成を図るため、県が設立を目指す仮称「インフラトレーニングセンター」の早期実現に向けた検討や、「女性部会」の設立に向けて取り組んでいく。さらには、共同受注に関する課題解決に努め、協同組合のさらなる発展を目指して参りたいとの抱負を述べました。

次に「一般社団法人全国建設業協会会長表彰伝達」を行い、受賞された22名を代表して小池工業㈱小池仁様が表彰状を受け取りました。続いて「公益財団法人建設業福祉共済団理事長表彰伝達」を行い、受賞された3名・1団体を代表して日光支部支部長榎本美明様が表彰状を受け取りました。最後に「一般社団法人栃木県建設業協会会長表彰」を行い、長年にわ

たり業務に精励された120名を代表して佐藤工業㈱佐藤豊忠様が表彰状を受け取りました。

その後、議事に入り、第1号議案「令和7年度事業報告及び計算書類承認の件」が原案どおり承認された後、「令和8年度事業計画及び収支予算の件」が報告されました。

続いて、第2号議案「定款の一部改正の件」が原案どおり承認され、これまでの顧問、相談役に加え、新たに特別顧問を設置し協会の体制強化を図ることとしました。第3号議案「役員選任の件」では、役員の任期満了に伴う改選について役員推薦名簿のとおり承認されました。役員改選では正副会長全員が再任されるなど、事業運営の継続性を確保しました。

また、同日、建設業労働災害防止協会栃木県支部の総会が開催されたほか、5月28日には全中建栃木、栃木県建設業協同組合連合会、栃木県土木施工管理技士会、栃木県建設産業団体連合会及び栃木県森林土木建設業協会の総会が開催され、それぞれ令和8年度の事業計画・予算案等の案件が承認されました。



令和8年度 総会の様子